

『あるひととせの戯言』

二十回生 井出(藤川)敏

(柳名 胡蝶)

しわぶきもつつしみ皇居『豊明殿』

勲章で夫の医業しめくくる

叙勲の栄知人とならぶ深き縁

柱傷息子の背丈なつかしむ

合気道・書道・茶道と道が好き

噴水が青空へ向きレース編む

『甲子園』汗と涙の延長戦

『南座』に『招き看板』上がって師走知る

どこもかも聖樹きらめく十二月

靴下の穴が気になるクリスマス

ゆっくりと歩みゆきたいわが余生

正座して蚊に刺されたる『土踏まず』

ゆったりと大の字に寝る青畳

一張羅の虫喰い穴が憎らしい

『水色のワルツ』は母の愛唱歌

『高野』発車中のトンボ『難波』着

コスモスと揺らす風ある無人駅

パソコンのすばやい流れに乗りきれず

前向きは気だけ体が付いてこぬ

旅に来て『小樽運河』の灯とあそぶ

つつがなく

朱寿・喜寿越し

曾孫得る

後太郎
胡蝶

平成二十七年如月五日

小池結子 誕生

